



ウェビナー パレスチナの今と ガザの子どもプログラム報告会

2021
11/29 MON
START
19:00

2021
11/29 月

とき



19:00-20:15

形式



Zoom Webinar

申込み



QRコードから
お申込み
ください
直前申込OK!



現地から生中継！

パレスチナの“現在”を発信します。

今年5月、日本YWCAはシェイク・ジャラ地区（東エルサレム）の立ち退き強制とガザ地区に対する武力攻撃への反対署名を呼びかけ、6,200人以上の賛同をいただきました。また8月から9月にかけて、空爆を経験したガザの子どもたちの心の傷を少しでも和らげるため、放課後プログラムを贈ろうとクラウドファンディングを呼びかけ、190人以上の方から120万円以上のご支援をいただきました。

2021年の「パレスチナ人民連帯国際デー」にあたり、力を貸してくださった方々、パレスチナに心を寄せてくださった方々に、オンラインで現地からの声をお届けします。ガザ地区での子どもたちのためのプログラム実施団体からの報告、ガザやエルサレムで直面している状況などを、ご一緒に知り行動する機会になることを願っています。

※日本語と英語の同時通訳が付きまます。

お問い合わせ：公益財団法人日本YWCA

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室 TEL: 03-3292-6121 office-japan@ywca.or.jp

パレスチナ・ガザから生中継!

子どもたちをサポートしたい！クラウドファンディング活動報告

パレスチナ・ガザ地区では、5月10日から11日間続いた爆撃によって子どもを含む多数の命が失われ、インフラと生活基盤が破壊され、7万人以上が住居を失い避難民となりました。イスラエルの軍事封鎖によって、人や物の移動が厳しく制限され、人々は苦しい生活を強いられています。

空爆後、パレスチナYWCAは、空爆を経験した子どもたちの心の傷を和らげるため、ガザ地区に基盤を持つ団体（Juzoor for Health and Social Development）と連携して子どもたちに5日間の心のケアプログラムを行いました。

日本からも実施を応援し、2021年8月から9月にかけて、クラウドファンディングや資金応援により190名以上の方にご参加いただき、合計120万円以上のご寄付が集まりました。今回の報告会では、支援金の使い道となるガザの最新情報と、支援内容について、現地から詳細をご報告します。

PROGRAM

参加できること

1 開会と歓迎

(パレスチナYWCA 総幹事 Amal Tarazi)



11月29日は国連が定めた「パレスチナ人民連帯国際デー」にちなんで、パレスチナYWCAおよび世界YWCAより平和に向けた現地のメッセージを国連加盟国に発信します。

2 日本YWCAからのメッセージ

(日本YWCA 会長 藤谷佐斗子)



クラウドファンディング実施や、日本YWCAを通じたこれまでのパレスチナとの連携、これからについてお話しします。

3 実施パートナーメッセージ

(Global Ministries)

4 ガザの状況と子どもたちのプログラム報告 Juzoor for Health and Social Development

5 オリーブの木キャンペーンについて

6 意見交換・オープンディスカッション

Keep Hope Alive

オリーブの木キャンペーン



パレスチナでは、長年続く軍事占領により、人々の生活が脅かされています。JAI（パレスチナYWCA・東エルサレムYMCAの共同プロジェクト）は、パレスチナの人々の生活に深く根差したオリーブの木の植樹という非暴力かつ世界中の人が寄付により参加できる方法で、現地の状況を広く伝え、雇用創出、環境保全、生活の安定化を図る取り組みをおこなっています。

日本YWCAは、この「オリーブの木キャンペーン」を支援しています。3,000円のご寄付で1本のオリーブの苗木を植えることができます。2020年度は、日本YWCAから214本の苗木を植えるための募金を送りました。

3,000円でオリーブの木1本を贈ることができます。
あなたも寄付で、この活動を応援しませんか？

寄付先

振込先（郵便振替）加入者名：

公益財団法人日本YWCA 口座番号：00170-7-23723

振込用紙の通信欄に「オリーブの木キャンペーン」と

「お名前のローマ字表記」をご記載下さい



パレスチナYWCA

パレスチナYWCAは、1983年にキリスト者女性の非公式グループによって立ち上げられ、1988年にエルサレムで正式に発足しました。最も周縁化された地域で、女性たち、特に若い女性たちをエンパワーすることを目的に掲げ、女性ひとりひとりが、経済的・社会的・政治的権利を要求し行使し守るよう活動しています。当プログラム実施を支えるパートナーです。

Juzoor for Health and Social Development

パレスチナ人家族の健康と福祉を向上させ、基本的人権としての健康を促進するパレスチナの非政府組織です。1996年に健康と開発の専門家集団によって設立されました。当プログラム実施主体となり、空爆の被害があったガザの子どもたちに、市内の16の学校と連携して校舎やコミュニティセンターで5日間にわたり、栄養のある食事を提供しながらプログラムを実施しました。

日本YWCA

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。日本YWCAは、パレスチナYWCAが実施している女性のリーダーシップ・トレーニングや自立のための職業訓練・保育園運営などを支援しています。このたび、クラウドファンディングを行い、この活動を支援しました。

誰でも応援！



SNSリツイート・シェアで、一緒にパレスチナのことを発信しよう！

日本YWCAが発信する『パレスチナの人々と連帯する国際デー』のSNS発信をリツイート・シェアし、あなたの周りの方へ現状を広めてください。ニュースに流れないパレスチナの今の声を知ってもらうことで、あなたとともに未来が変わります。